

第5回 あかいわ☆しらせ隊 ドイツの森 H29.12.17

●ワークショップ

- ・第4回目までのグループワークを通して、①～④の自分たちのテーマについて、成果表でまとめたものを、清書・発表する。

<発表内容>

グループ① **結婚、子育て、赤磐市に住み続けるまちにするためには**

- ・出会いの場や機会を増やすことが大切、職場の充実化も必要。既婚者でも、未婚の人たちに、婚活パーティの紹介等を口コミで言えるような環境作りを自分たちができるのではないかと思う。行政には、テレビ番組「お見合い大作戦」への応募をお願いしたい。視聴率がある番組に出ることで、赤磐市の結婚促進だけでなく、広域的なPRにつながると思う。
- ・交通手段の充実化を図りたい。バスなどの交通機関をより便利にできないか。
- ・子どもたちが習い事をより受けやすい環境にしていきたい。高額で習いに行けない人たちのために、無料塾があればいいと思う。また、たとえば子育て世代の働いていない女性でも、過去の経験を生かして、定額で子どもたちに教えることができるようなボランティア教育の導入のサポートを自分たちでできないかと思う。習い事が受けられないとしても、学校教育のレベルアップを考えていく必要がある。その際には、行政、特に教育委員会と一緒に考えていきたい。
- ・市役所への手続きの際、小さい子どもがいる市民のために、手続きの短縮化を図るため、ドライブスルーのような仕組みは導入できないだろうか。
- ・岡山県のももっこカードのような市民パスポートの活用を。市民パスポートを利用することで、朝市や市民バスが半額になったりするなどの特典があれば、赤磐市在住に付加価値を付けられると思う。

グループ② **まちにぎわいや活性化について思うこと**

- ・商業施設や就職先がなく、交通の便も悪いので、赤磐市はにぎわっていると思わない。魅力的な施設やイベントを増やしていけば人も来るのでにぎわいにつながると思う。
- ・具体的なイベントとして、お祭りを通じて地域交流を盛んにしていくことを提案する。地区・地元企業・学校・行政が一丸となり開催する。参加する市民は地域に関わり、地域にある企業や特産物などを知るきっかけにもなることができる。学校ぐるみで開催することで、高陽中学校の盆踊りのように生徒が参加し、生徒やその家族・親族もお祭りに関わっていくことができる。自分たちは企画運営に携わり、行政がバックアップし、協力団体を多めに募れば、参加者一人ひとりの負担も減り、忙しい人も参加しやすくなると思う。また、お祭りは、昼の部にユース団体等がメインで、夜の部に盆踊り、という2部構成はどうだろうか。

グループ③ **住宅団地（山陽、桜が丘）や空き家活用について思うこと**

- ・どこに空き家があるかわからない、空き家があるという実感がないという意見から、空き家をウォールアートにしたり、自由に改装してDIYの教室を開いたりするのはどうか。
- ・団地につながる道は坂が多いことから、カフェなどの休憩場所を作る。また、電動自転車の乗り捨てのステーションをいくつか作り、急な坂道でも自由に移動できるようにする。

- ・古民家カフェやマルシェ、子ども食堂を作る。そして岡山市のゴミ分別アプリのようなアプリを使って、イベントの開催等を随時お知らせする。
- ・自分たちは、実際に動くボランティアスタッフや、インスタグラムなどのSNSを活用し宣伝ができると思う。また、行政は空き家やその情報の提供をお願いしたい。スタッフとして動く際は、低価格の報酬があれば、やりがいを実感できるとともに、人も集まると思う。

グループ④ 市の取り組みを知ってもらうには ～赤磐市を発信～

- ・あかいわレンジャーを作る。赤磐で有名な野菜や果物をレンジャー化して、子どもたちの野菜・果物嫌いを減らそうという趣旨である。黄ニラであれば、黄ニラの美味しいお店をSNSを使って紹介していく。自分たちはレンジャーの募集要項やストーリー作成などの企画・運営をしていきたい。またYouTubeでレンジャーの動画を配信したり、レンジャーとコラボしてくれるお店を探したり取材をお願いしたりしていきたいと思う。行政には、お店等の情報提供や資金援助などの全体的なバックアップをお願いします。

グループワークでみんなの意見をまとめよう☆

～テーマに沿ってみんなでいろいろ考えてみた～

- いま
- ・現在の赤磐市
 - ・未来の赤磐市
 - ・10年後の理想のまち
 - ・具体的なアイデア
 - ・自分たちにできそうなこと
 - ・行政と一緒にできそうなこと

まだまだ話し足りないけど



もっと知ってもっと伝えていきたい！



より赤磐のことを知る事ができたり
赤磐のことが大好きになった！



自分たちでできそうなことは
ないのかな？

これからもみんなで赤磐を
発信できるといいね！

テーマ	③ 住宅団地(桜が丘、山陽団地)や空き家活用について思うこと
現在	空き家があるという実感が無い
第1回目の ブルームゼン	団地に行く道がづらい
未来	空き家をアート作品に(ウォークアート) 空き家を自由に改造して学ぶ(DIY教室)
第1回目の ピンクムゼン	民泊 カフェ 休憩場所 交通手段の充実
理想のまち (10年後)	地域の魅力を拠点としそれをとほく街の自動化 楽しめて続けられて小銭を稼ぐイベントがある
具体的アイデア	古民家カフェ、アプリ、マルシェ、子ども食堂 電動自動車 自転車のステーションをつくらせ、 自由に移動
自分たちが できそうなこと	ボランティアスタッフ、フリーメンバー 小銭をかせぐ、インスタ
行政と一緒に できそうなこと	行政はテーマの提供をし、活用は実際 動く人が交渉から企画、運営